



## アデノウイルス感染症



アデノウイルスは50以上の血清型と遺伝子型が知られており、どのような病気を引き起こすのかある程度は判明しています。多くのアデノウイルスは潜伏期間は5～7日で、感染経路は便・飛沫(唾液や鼻水)・または直接の接触です。感染したウイルスは扁桃腺やリンパ節の中で増殖します。鼻やのどを綿棒でこすって迅速検査ができます(検出率は100%ではありません)。

アデノウイルスが原因となる病気の中で、学校保健安全法により出席停止期間が定められているものがあります。

### ■咽頭結膜熱(プール熱)…出席停止期間は主症状が消えたあと2日間です。

39～40℃の高熱と37～38℃の微熱を4・5日ほどくりかえしながら、扁桃腺が腫れ、のどの痛みを伴います。頭痛・腹痛・下痢も伴うことが多く、耳介部や頸部リンパ節が腫れることもあります。両目又は片目が充血し、目やにがでます。夏にプールを介して流行することがあるためプール熱と呼ばれていましたが、飛沫や便を介して感染します。

### ■流行性角結膜炎…第3種感染症:出席期間は医師の診断により感染の可能性がなくなるまでです。

目が充血し目やにが出ますが、咽頭結膜熱のような高熱は比較的少なく、のどの赤みも強くはありません。結膜炎経過後に点状表層角膜炎をつくることが多く、幼少児では偽膜性結膜炎をおこし、角膜混濁が発症することがあるので、必ず眼科での治療が必要です。約2週間感染力が続くといわれています。

### ■その他に…

▶乳幼児に多い胃腸炎…腹痛・嘔吐・下痢をとまいませんが発熱の程度は比較的軽いとされています。

### ■水分補給と対症療法

▶抗ウイルス薬はありません。

◆高熱が4～7日ほど続くことがありますので必要なら解熱剤を使用します。

◆のどの痛みが3～7日続いたり、体力・免疫力の低下により二次感染を起こすことがあるので、抗炎症剤や抗生物質を使用することもあります。

◆高熱が出ることが多いので自宅で安静にしながらのどに刺激のない、おなかにやさしいスープなどでこまな水分補給をしましょう。冷たい物や油脂・脂肪の多いものはひかえましょう。

◆感染者とのタオルは共有しないようにし、感染者にふれたら手洗いうがいをしましょう。特におむつを替えたならビニールでしっかり処理し、すぐに手を洗いましょう。

◆アデノウイルスは症状がおさまった後2～4週間程度体内にウイルスが残っていることがあるといわれています。特に便からウイルスが排出されるためこどもが触ったおもちゃやトイレの掃除をこころがけ、可能ならきょうだいのなかで入浴の順番は最後にしましょう。

◆大人の場合は体調と相談で出勤は可能ですが、アデノウイルスは感染力の強いウイルスですので必ずマスクを着用し手洗いを徹底しましょう。



おしらせ

